



泉だより 第389号

平成26年12月1日発行

西東京市立泉小学校

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-izumi/>

伝統を守り、未来への力をつける。

校長 幸内 悦夫

先日の研究発表会には145名もの皆様にご来校いただきありがとうございました。国語科を通して「すすんでかかわり合い、伝え合う力」をつけるための研究の一端をお見せすることができました。来年度、全児童が新しい学校で過ごすことになる泉小学校の子供たちには前述の力が大切な力と考え研究を進めてまいりました。参観された方からは、「一人一人子供たちが真剣に学習を進め、しっかり伝え合う姿が素晴らしかったです。たくさんのかかわり合いが見られました。」とお褒めの言葉をいただきました。また、研究発表会では読書活動を推進するために作家の杉山亮先生の講演をお願いしました。読書を通して新しい世界を知り、挑戦していくチャレンジ精神を育てていきたいと考えています。未来に向けて子供たちの不安感がないように今後もコミュニケーション力、友達づくりの力、チャレンジ精神を育てていきます。ご理解ご協力ください。

研究発表会の日には、こんなことがありました。研究会にいらした本校児童のおばあ様から声をかけられました。研究発表会当日の新聞をお持ちいただき、そこには杉山先生が全国を回っておられる様子が掲載されていました。早速、発表会でご紹介しました。学校の活動にお気遣いいただいていることに感激しました。お孫さんは6年生で、息子さん(児童のお父様)も本校卒業生で40周年の時にお話をしていただいたそうです。

おばあ様は参考になればと、先月も感謝状をお持ちになりました。保谷市教育委員会からの昭和48年の感謝状です。本校の交通安全協議会が交通安全に協力したことの功績を感謝するものでした。泉だよりの前号でもお知らせしましたが、子供たちの安全確保へのご尽力が認められた訳です。その後も、地域、保護者、学校の交通安全に対する取組は地道に継続され、大きな交通事故が皆無ということで、

昭和55年に田無警察署から、平成4年には校外協力委員会が警視庁から感謝状を受けました。これらの大きな功績は、校長室に掲額されています。交通安全協力委員会は、名称が現在の校外協力委員会と改名されました。現在も行われている育成会と連携しての夏季休業前の近隣への安全協力依頼文書2000枚の配布、夏季休業中の水泳指導時間のパトロール等、以前の泉だよりを読んでもと長い歴史があることが分かり感動しました。児童の安全確保の活動は受け継がれています。素晴らしき伝統です。泉小の誇りです。

素晴らしい伝統は子供たちの中にも、しっかり定着しています。先月の全校遠足では、6年生がリードして楽しく稲荷山公園で活動をしてきました。行き帰りの電車内では全員が無言で静かに過ごすことができました。無言乗車のマナーについては、開校当初からの泉だよりに何度も登場します。昨年の遠足の時に車内で出会い、マナーの良さをわざわざお手紙で褒めていただいた方も、その後関わっていただいております。今年度の学習発表会、今回の研究発表会にもいらしてくださいました。伝統が支えた貴重な出会いです。誇らしいことです。

統合に向けては、希望校調査が終了し進学先の本校からの人数が決まりました。進学先を決めるに当たってはお子様といろいろ悩まれたことと思います。子供たちは、年度末が迫るにつれ、進学先のことを今まで以上に考えるようになり、不安になることが考えられます。学校としては子供たちの声をしっかり聞き取り、保護者の皆様と連携しながら対応を進めていきます。ご心配な点、ご不明な点はお問い合わせください。また、次回の保護者会でも私の方から少々お時間を頂戴してお話し致します。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。